

13 次の世代につなげる

取組事例

57

三重県教職員森林環境教育研修

～ みんなで目指すSDGs 私たちの身近な森林～

三重県（みえ森づくりサポートセンター）



SDGsや森林環境教育の基礎や考え方に関する講義

実施時期	令和7年7月
実施場所	三重大学教育学部1号館201教室 及び大学内正門付近
時間	2時間
対象・人数	県教職員等 9人
講師	三重大学教育学部 平山大輔教授
備考	県教育委員会事務局研修推進課及び、みえ森づくりサポートセンターによる講座

めざす姿

13 次の世代につなげる

（02 親しむ、03 興味・関心を持つ、04 違いに気づく、05 変化に気づく、06 知識・技能を身に付ける、07 科学的に考える、10 課題解決への参画、11 行動を起こす、12 仲間と活動する）

ねらい

私たちの身近な森林を活用した森林環境教育の学習展開方法について考える

内容

- ・SDGs達成に向けた森林環境教育の学習展開方法、生態系における森林の果たす役割について講義を聞く
- ・三重大学構内の木々を観察し、木の生き様や人の暮らしとのかかわりについて学ぶ
- ・サーモカメラとタブレットを活用し、校庭で気象緩和機能を体験的に学ぶ



クスノキの観察と解説



ソテツの観察と解説



サーモカメラとタブレットの活用

参加者の反応

- ・まずは園にある木を知ることから、子どもたちと始めて行きたいと感じた。
- ・未就学児を保育しているため、難しい話は伝えにくいですが、SDGsについてや、森林について学んだことを噛み砕いて簡単に伝えたり、日頃から自然に目がいくように植物の面白さを伝えていこうと思います。
- ・話を聞くだけでなく、実際に植物を見てその特徴や特性、歴史などを知ることができて、学びの多い研修でした。さらに教師側が楽しそうにしていると生徒側も楽しく知識を増やすことができるので、教師として楽しく面白がりながら授業をすることの大切さを学ぶことができました。
- ・講師の先生のお話面白かったです。環境問題となると構えてしまいますが、このように身近な物で知らなかったことがわかったり体験できたりしてとても興味深かったです。
- ・木の製品を使うことの重要性を生徒たちに伝えていきたい。